

# 病院前救急診療科看護師の役割

## 病院前新聞

第6回  
平成27年2月

1月の出場件数

出場件数 43件  
内キャンセル 12件

病院前救急診療科看護師は、何時出場要請がかかるかわからない中・どのような患者様の治療に携わるか検討も付かない状況で待機をしています。

一つの出場が迅速にかつ安全に確実に治療・看護が出来るように日々のドクターカー車両点検・資器材の点検は、欠かすことが出来ません。点検だけが看護師の役割ではなく、出場時に救急車内という狭い空間で、限られた資器材の中、どのように治療・処置・看護を展開しなくてはいけないのか？出場時の課題を踏まえ1ヶ月に2回訓練・カンファレンスを行っています。

その他、ドクターカー内に設置されているドライブレコーダー（室内・室外を随時記録）を確認し緊急走行時に危険な点が無かったかなどの検証や救急隊搬送記録の検証・ドクターカー出場時に救急隊との連携に問題は無かったのかなどの検証を日々行っています。



ドクターカーを運用するに当たり、緊急運転走行を実施する医師・看護師は、茨城県にある安全運転中央研修所で、4日間の一般緊急自動車運転技能者課程を受講する事が義務付けられています。

一般緊急自動車運転技能者課程では、サイレンを鳴らしながらの緊急走行訓練・危険回避訓練・自動車の機能についての講義・夜間の危険箇所・ヘッドライトの盲点・ぬれた路面走行の車両軌道など、緊急運転走行に必要な内容を行います。

今後も救急走行技能維持の為、3年に1回の受講が義務付けられています。

また、ドクターカー業務は、消防署や救急隊との連携・連絡が非常に重要です。その連携・連絡が適切に行われるために、消防無線やMCA無線の役割が必要不可欠となってきました。ドクターカーを担当する医師・看護師は第3級陸上特殊無線技士の免許を取得し、消防無線やMCA無線を適切に使用できるようにしなければなりません。

災害時には、DMATで中津川圏外に出場する事もあります。その際に、中津川市の消防機関以外にも無線連絡が出来るような体制を取っています。

